

平成24年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告

「やってみよう！環境学習プログラム」第5回「ごみ博士になろう！」（テーマ：ごみ）

□実施日時 平成24年8月20日（月） 9時45分～16時15分

□受講者数 11名

□実施場所 環境局中防合同庁舎（東京都廃棄物埋立管理事務所）9階大会議室

□実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局（研究所）から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局環境政策課（企画調整係 鈴木主任）より開講挨拶等
- ・研修受講者から一人ずつ簡単な自己紹介

2. ビデオ上映、中防処分場見学

（担当：環境局廃棄物埋立管理事務所 石井 広報連絡調整担当係長）

- ・今回は、午前に行う中防処分場見学を午後の環境学習プログラムでの「まち探検」（まちの中に出て、地域のごみについて調べる体験学習）の代わりとするため、初めにチェックシートの書き方等について環境学習研究会 谷村理事長より説明があった。
- ・石井係長から中防埋立処分場について概要説明の後、ビデオ「埋立処分場はいま」を上映。
- ・東京都環境公社見学担当の説明により、マイクロバスから、中防内側（粗大破砕施設、不燃ごみ処理施設、東京風ぐるま、太陽光発電施設等）及び中防外側（処分場、集水池、調整池、ステージ）などを見学した。

【午後】

3. 中防環境学習ホール等見学

- ・東京都環境公社の見学担当より、実際に小学生が見学に来た場合にどのような説明をしているかを解説してもらいながら、環境学習ホールを見学した。
- ・その後10階の展望室にて、処分場の全景等を見学した。

4. 環境学習プログラム「ごみ博士になろう！」

（担当：特定非営利活動法人 環境学習研究会 谷村春樹理事長）

(1) 「ごみ博士になろう！」模擬授業

- ・中防の施設や埋立処分場、環境学習ホールなどを見学して気付いたこと、感じたことを、記入したチェックシートをもとに発表してもらった。これを受け、

次に環境学習プログラム「ごみ博士になろう！」について、色々な小学校での「まち探検」を中心としたこれまでの実践事例の紹介や、プログラム概要及び補足事項の説明を行った。

- ・ 講師からは、○特に東京のような都会での生活では、日頃の生活を通じて子供たちの感性を育む機会が減っており、その意味でも体験的な活動が大切であること、○『まち探検』で言えば、身近な『ごみ』という視点から自分たちの住むまちを実際に目で見、その地域に住むおじさん、おばさんに話を聞くなど地域を場とした実践活動を行うことにより、新たな気付きや大人に対する尊敬の念も生まれてくること、○こうしたことを通じて、知識として知るだけでなく実感として感じるにより、やれることをする（できる）人間となるように育てていくことに環境学習の意義があると言える、等の話があった。

(2) まとめ（質疑応答及び発表、参加者同士の情報交換）

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、参加者が一人ずつ発表し、講師がコメントをして、参加者で情報を共有した。

今回の研修は「ごみ」という生活に身近なテーマが切り口であることを反映し、受講した先生方からは、授業での取り上げ方や発展的な学習案についての様々な意見やアイデアが出た。

5. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

なお、午前中の最後に「アクション7事業」の紹介を行った。

【研修の様子】（午前）



受講生自己紹介



埋立管理事務所石井係長より説明



ビデオ「埋立処分場はいま」



風力発電施設及び「海の森」の説明を受ける

【研修の様子】（午後）



中防外側埋立処分場



環境学習ホールでの説明①



環境学習ホールでの説明②



歴史コーナー(大八車前)にて



中防合同庁舎10階展望室



模擬授業の様子①



模擬授業の様子②



まとめ、発表等